



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス  
 コード番号 4761 URL <https://www.kcs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 神原 忠明  
 (氏名) 高岸 浩司  
 TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,327	10.2	131		96		38	
2019年3月期第1四半期	3,927	4.4	265		233		170	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 109百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 152百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.43	
2019年3月期第1四半期	15.23	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,722	15,331	77.7
2019年3月期	20,651	15,552	75.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,331百万円 2019年3月期 15,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		6.00		10.00	16.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,300	7.4	90		120		100		8.92
通期	23,000	4.8	610	16.6	660	10.7	460	19.8	41.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、[添付資料]3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料] 8 ページ「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	11,200,000 株	2019年3月期	11,200,000 株
2020年3月期1Q	703 株	2019年3月期	703 株
2020年3月期1Q	11,199,297 株	2019年3月期1Q	11,199,297 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料] 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社及び連結子会社(以下、「当企業集団」という。)の当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、金融・公共・産業関連部門ともにシステム構築が順調に増加したほか、公共関連部門における大規模システム機器販売案件の獲得及び産業関連部門におけるクラウド案件やBPO案件の増加によるシステム運用管理の増加もあり、売上高は、前年同四半期比399百万円(10.2%)増の4,327百万円となりました。

損益面につきましても、社内システム再構築に伴う減価償却費等の増加を主因として販売費及び一般管理費が増加した一方で、増収効果に加えて、プロジェクトの収支改善が進んだことなどを主因とする売上総利益率の改善により売上総利益が増加したことから、営業損失は131百万円と前年同四半期比133百万円の増益、経常損失も96百万円と前年同四半期比136百万円の増益となりました。また、特別利益として移転補償金33百万円(※1)及び投資有価証券売却益20百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失も38百万円と前年同四半期比132百万円の増益となりました。

連結のセグメント別売上高は、次のとおりです。

## ① 金融関連部門

SMB Cグループ向けシステム構築案件が増加したことを主因として、売上高は1,336百万円と前年同四半期比89百万円(7.2%)の増収となりました。

## ② 公共関連部門

大規模システム機器販売案件の獲得に加え、改元対応案件などによりシステム構築も増加したことを主因として、売上高は991百万円と前年同四半期比88百万円(9.8%)の増収となりました。

## ③ 産業関連部門

大手ベンダー経由の案件やERPソリューション案件が堅調に推移したことによりシステム構築が増加したことに加え、クラウド案件やBPO案件の増加によりシステム運用管理が増加したことを主因として、売上高は1,999百万円と前年同四半期比221百万円(12.5%)の増収となりました。

なお、連結の品目別セグメント別売上高及びセグメント別営業利益は、次のとおりです。

(単位:百万円)

	金融関連部門	公共関連部門	産業関連部門	全社共通	合計
システム構築	902 (14.5%)	347 (7.8%)	988 (16.5%)	—	2,238 (14.2%)
システム運用管理	383 (△7.5%)	350 (1.5%)	477 (21.5%)	—	1,210 (5.1%)
その他の情報サービス	29 (△6.8%)	161 (△0.5%)	265 (△3.2%)	—	456 (△2.5%)
情報サービス売上高	1,316 (6.6%)	859 (3.5%)	1,730 (14.2%)	—	3,906 (9.1%)
商品売上高 (システム機器販売)	20 (73.2%)	132 (79.8%)	268 (2.3%)	—	421 (21.1%)
売上高合計	1,336 (7.2%)	991 (9.8%)	1,999 (12.5%)	—	4,327 (10.2%)
営業利益	243 (21.6%)	98 (122.4%)	109 (143.8%)	△583 (—)	△131 (—)

(注) ( )内の%表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

※1 当社の連結子会社である株式会社KCSソリューションズの本社事務所移転に伴う補償金であります。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期(7~9月)及び第4四半期(1~3月)に集中する傾向があり、売上高が第1四半期(4~6月)及び第3四半期(10~12月)において減少し、第2四半期(7~9月)及び第4四半期(1~3月)に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比928百万円減少して19,722百万円に、純資産も前連結会計年度末比221百万円減少して15,331百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.4%上昇して77.7%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

### ① 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2019年9月30日)

売上高及び営業利益、経常利益につきましては、修正はございません。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間において、移転補償金及び投資有価証券売却益として合計53百万円を特別利益に計上したことを踏まえ、上方修正しております。

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	90	120	80	7.14
今回修正予想(B)	10,300	90	120	100	8.92
増減額(B-A)	—	—	—	20	
増減率(%)	—	—	—	25.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	9,590	△29	1	△4	△0.42

### ② 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

売上高及び営業利益、経常利益につきましては、修正はございません。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「① 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正」と同様の理由により、上方修正しております。

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	610	660	440	39.28
今回修正予想(B)	23,000	610	660	460	41.07
増減額(B-A)	—	—	—	20	
増減率(%)	—	—	—	4.5	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	21,945	522	596	384	34.28

### ③ 配当について

1株当たり配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はなく、当初の計画のとおり、中間配当金6円、期末配当金6円とし、年間配当金は12円を予定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,328	8,597
受取手形及び売掛金	5,580	2,710
商品	109	298
仕掛品	309	926
貯蔵品	11	12
その他	623	489
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,962	13,035
固定資産		
有形固定資産	3,031	3,167
無形固定資産	1,009	963
投資その他の資産		
投資有価証券	1,227	1,118
退職給付に係る資産	776	795
その他	678	678
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	2,647	2,556
固定資産合計	6,688	6,687
資産合計	20,651	19,722
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,719	1,268
未払法人税等	253	44
賞与引当金	834	308
受注損失引当金	16	14
その他	1,212	1,629
流動負債合計	4,036	3,265
固定負債		
役員退職慰労引当金	143	124
退職給付に係る負債	110	109
その他	808	890
固定負債合計	1,062	1,125
負債合計	5,098	4,391

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	10,780	10,630
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,063	14,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272	203
退職給付に係る調整累計額	216	214
その他の包括利益累計額合計	489	418
純資産合計	15,552	15,331
負債純資産合計	20,651	19,722

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,927	4,327
売上原価	3,193	3,425
売上総利益	734	902
販売費及び一般管理費	999	1,034
営業損失(△)	△265	△131
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	27
不動産賃貸料	15	15
雑収入	2	2
営業外収益合計	45	45
営業外費用		
支払利息	6	5
固定資産除売却損	—	0
不動産賃貸費用	6	5
雑損失	1	0
営業外費用合計	13	10
経常損失(△)	△233	△96
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20
移転補償金	—	33
特別利益合計	—	53
税金等調整前四半期純損失(△)	△233	△43
法人税等	△63	△4
四半期純損失(△)	△170	△38
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170	△38



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△170	△38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△68
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	18	△70
四半期包括利益	△152	△109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△152	△109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。